

安全・安心・住みよいまちづくり

# ネットワーク

第19号

発行日 平成27年2月20日  
発行 白石地区  
ネットワーク協議会  
責任者 情報交流部会長  
菱沼洋一郎

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270

## 白石地区の町内会加入 促進3年間の取組み

白石地区連合町内会  
会長 浅沼 英樹

### 町内会加入世帯数が3年連続で増加

白石地区連合町内会では、課題となっている町内会加入率向上について、平成24年度から26年度までの3年間を集中的な取組期間として加入促進に取り組んで来ました。取組みの結果、白石地区の加入世帯数が3年連続で増加し、11,933世帯から12,921世帯に（988世帯増加）、加入率も61.22%から64.84%に向上させることができました。今回は、これまでの取組みの概要についてお知らせいたします。

### 取組1年目（平成24年度）

取組みを進めるにあたり、平成24年5月に連合町内会内部に「町内会加入促進委員会」を立ち上げ、組織的かつ専門的に検討を行うこととしました。その内容は、単位町内会ごとの町内会加入率の把握や、勧誘チラシを使った効果的な加入促進手法の検討などですが、参加した委員みんなで徹底的に議論しました。検討結果については、連合町内会定例役員会において各町



■ ブロック別意見交換会（26年7月）

内会長に報告し、各单位町内会の加入促進の取組みに役立ててもらいました。

### 取組2年目・3年目（平成25～26年度）

2年目は、前年の取組みを継続しつつ、より効果的な加入促進手法について学ぶため、外部講師の講話や事例発表を内容とする「町内会加入促進研修会」を開催しました。

さらに、取組み3年目には、近隣の町内会役員同士で、各町内会における具体的な取組手法等に関する情報交換・意見交換を行う「ブロック別意見交換会」を開催しました。

### 今後の取組みについて

以上のように、連合町内会が旗振り役となって3年間にわたり取組みを進め、各单位町内会が熱心に加入促進活動を行った結果、加入世帯数増加・加入率向上という成果を上げることができました。これは、取組みに参加された皆様のご努力のおかげであり、心より感謝いたします。

連合町内会としての集中取組期間は、平成26年度まででいったん終える予定ですが、今後とも、各町内会におかれましては、継続的に加入促進に取り組んでいただきたいと思います。

地域の少子・高齢化が進む中、住民の安全・安心な暮らしのために町内会が果たす役割はますます大きくなっていくものと思います。これからも、より多くの人々の加入と参加で、各町内会の活動の活性化を図っていただきますようお願い申し上げます。



■ ブロック別意見交換会（26年8月）



## 第11回白石地区 いきいき健康まつりをおえて

● 体育振興部会 副部会長 寿崎 良松

白石地区ネットワーク協議会の体育振興部会では、9月7日に第11回目の「いきいき健康まつり」が盛大に開催されました。参加者は300人を超えます。

「ふまねっと」は、昨年からはじめた項目ですがこれも参加者がリズムよくステップされ楽しまれていた方が多く見受けられました。50cmの柵目を歩く単純な事ですが、足が上がりずネットに「引っかけたり」「踏んだり」する人も散見されましたが「脳の運動効果」によろしいようです。「昔・あそび」では、折り紙で「くまもん」等の作成に場所が狭いくらい人気集中していました。



■ 「ふまねっと」の様子

又、竹馬、コマ廻し等にも懐かしく遊ばれていた年配者が印象に残りました。「歴しるベウォーキング」は地区内の遺跡めぐりで見聞を深められたことと思います。屋外では「ペタンク」競技の実施、これはフランスが発祥の競技で、目標球（ビュット）に金属製のボールを投げ合って相手のボールより近づける事で得点を争います。高齢者から小学生まで年齢を問わずに楽しめる人気の高いオシャレなスポーツです。最後に「健康クイズ」を全員で参加、頭の体操で「チョットひねった問題？」に苦慮しながら○×ゾーンに移動して、正解者は景品をゲット、喜びを感じながら終了となりました。

今後も「白石地区いきいき健康まつり」が継続されますよう期待致します。



■ みんなで準備体操

# まちづくりふれ愛音楽会

## 第7回



第1回開催から数えはや7回目を迎えましたが、初めての時は演奏中にもかかわらず、会場の後ろ側で子供たちが遊びまわって少々ざわついていました。いまでは観賞する大人の方々の配慮も行き届き、演奏する子供たちを熱心に応援するようになりました。まちづくりふれ愛音楽会は生徒たちの学習教材にもなっております。



● 情報交流部会 副部長 大赤見 博



■ 会場の模様



白石小学校スクールバンド

指揮者の鈴木先生を初め、4人のボランティアの先生方に指導をして頂きながら、基礎を重点的に日々練習に励んでいます。今年度は大きな会場での演奏会だけではなく、学校の音楽室でミニコンサートを開催したり養護老人ホームのお祭りで、演奏させて頂いたり、例年とは少し違う活動をしています。



南白石小学校合唱団

26年は6月に、課題曲講習会、8月にNHKコンクール札幌地区大会がありました。そしてNHKコンクールでは2年連続銀賞を受賞することができました。この「まちづくりふれ愛音楽会」には、5度目の出場となります。



南郷小学校金管バンド

26年8月に行われた吹奏楽コンクール札幌地区大会では、念願だった金賞を受賞することができました。しかし、それに満足せず、更なる演奏技術の向上を目指して、毎日一生懸命練習しています。



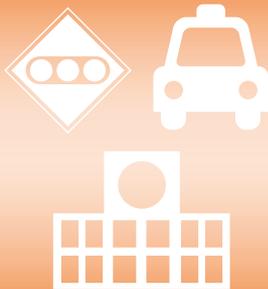
白石中学校吹奏楽部

26年9月に行われた全日本吹奏楽コンクール北海道支部大会中学校A編成の部に出場し、金賞を受賞、北海道代表となり10月に名古屋国際会議場で行われる第62回全日本吹奏楽コンクールに出場することができました。地域の皆様を始め、たくさんの皆様のご支援のおかげと深く感謝しております。



札幌白陵高等学校吹奏楽部

札幌白陵高等学校吹奏楽部は、創部18年目になりました。現在は15名で「楽しく本気」をテーマに、学内行事や地域のお祭り、コンクールなどで演奏を行っています。まだまだ未熟なバンドではありますが聴いていただける皆様の「心を動かす音楽」を目指し、日々練習しております。



# 青パトの 活動状況について

● 生活安全部会 副部会長 川村 一男

今や青パトは、地域の防犯活動車両として多くの人に知られ、親しまれる存在になっております。

ここ数年、全国的統計を見ると、刑法犯や交通事故の件数は、減少傾向にあるようですが、子供たちに対する声かけ事案や不審者情報は、相変わらず跡を絶っていないとのこと。このような現状を踏まえて当青パト隊は、子供たちの安全安心を守るため主に、小中学校の下校時間帯に焦点を合わせた巡回、夏休み、白石神社の祭典等、子どもらへの誘惑を阻むため、必要に応じては、夜間のパトロール活動も行っています。

結成から6年目を迎えた青パト協議会も、車両、会員共に充実（車両27台、会員91名）され、その活動は、多岐に渡っております。巡回中には、地域のゴミステーションにも目を配りルールに反した排出者を見かけた

時等は、その都度声かけ指導をします。この結果以前に比べて不法投棄は少なくなり、ゴミステーションは、きれいに成りました。また、把握している独居のお年寄りのお宅については、パトロール中に立ち寄り声かけをする等により、地域の見守り活動の一環として、大いに喜ばれています。

地域に長く住みながら、「こんな小さな路地の先までは知らなかった」「あそこの家の軒下には何時も踏み台になるような物が置いてある」等、青パトでくまなく回ることにより、それまで知らなかった新しい発見ができ、地域の実態把握に役立っております。これからも、地域の安全は、地域の青パトが守るとの心意気で力強く活動していきたいと思っています。



■ 青パト隊の活動の様子



## 子どもの笑顔がキラキラ 「白石・雪であそぼう in 南郷」

● 青少年女性部会 部会長 松本 弥生

平成27年1月9日、南郷丘公園にて、「白石・雪であそぼう in 南郷」が開催されました。昨年に引き続き、土木センターには公園の除雪をご協力いただきました。

当日朝は、寒くて大粒のアラレのような雪が降っており、参加者の出足が悪く心配しました。しかし、恒例の開会の合図のラッカサン花火が打ち上げられ、バックミュージックが流れて、各遊びのコーナーが始まると、徐々にあちらこちらから親子が集まってきました。保育園・児童会館の団体の参加もありました。

遊びの種類はほぼ昨年と同じですが、配

置を工夫したこともあり、それぞれの遊びに子ども達が集まりました。入浴剤で色を付けた雪で遊ぶ色雪遊びや、ボブスレーに乗って引っ張ってもらう「汽車ごっこ」、米袋そりで坂を滑る「そり遊び」、ゴールめがけてボールを蹴る「サッカー」、他にもたくさん遊びがあり、寒い冬に負けない子ども達の笑顔が見られました。「かけっこ」の後はおいしい豚汁をいただき、体が温まりました。

今年の参加者は大人・子ども合わせて294名スタッフ51名でした。そして、白石中学校33名、柏丘中学校25名、東高校7名、クラーク高校7名、全員で72名もの学生がボランティアとして参加し、各コーナーで活躍してくれました。

雪の中、皆さんありがとうございました。



■ 雪中すもう



■ スノーフラッグ

## 白石サイクリングロードに代わる 新しい愛称が決定しました!

● 白石地区連合町内会 副会長 木村 幸男

道道札幌恵庭自転車道線（白石区区間の愛称：白石サイクリングロード）について、現在の愛称では自転車優先という印象が強いとの声が多くありました。そこで、白石区役所では、自転車や歩行者誰もが安全・快適に利用できるように新しい愛称を平成26年10月から11月にかけて募集したところ、1,750点もの応募がありました。

この中から、第1次選考で14点を選び、さらに区民投票を経た後、最終

選考が行われ、この度、次のとおり新愛称が決定しました。

### 新愛称：「白石こころーど」

今後とも、自転車利用者と歩行者が、お互いにゆずりあいのマナーを大切に、「白石こころーど」を利用しましょう。



■ 第1次選考会の模様（平成26年12月7日）

## 行事予定

4月25日（土）

白石地区連合町内会総会

於：白石会館

4月

通学パトロール開始（小学校5校）

5月12日（火）

白石地区社会福祉協議会総会

於：白石会館

5月15日（金）

白石地区ネットワーク協議会総会

於：白石会館

5月下旬

青色回転灯装備車連絡協議会（青パトの会）

定期総会

於：白石会館



## 編集後記

例年になく寒暖の差が著しい冬のシーズンも終え、春を迎えようとしています、まだまだ、寒い日が続きます。

これからも、地域に密着した活動の様子を、皆様に提供していきたいと考えております。

情報交流部会一同